

令和7年度 年間授業計画(東京都立科学技術高等学校)

学科	学年	教科	科目	単位数
科学技術科	1	国語科	現代の国語	2

1学期配当時数	2学期配当時数	3学期配当時数	計
28	32	18	78

使用教科書
大修館書店「現代の国語」

教科の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。	生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

■1学期

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態
単元名：要点をつかむ 【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方、個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとする。	・指導事項 対比・具体化・抽象化 ・教材 「水の東西」 ・一人1台端末の活用 等 forms の利用	【知識・技能】 ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方、個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、学習課題に沿って、具体や抽象、対比の関係をとらえようとしている。	○	○	○
単元名：的確に伝える 【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現、書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解し、実社会に必要な語句の量を増やす。 【思考・判断・表現】 ・話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話し、文章の種類をふまえて、叙述を基に内容を的確にとらえ、目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んで書く。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・口頭での説明の際は相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫し、説明を書く場合は材料同士の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、読む際は進んで、叙述を基に文章の内容を的確にとらえようとする。	・指導事項 話し言葉の適切な使い方 ・教材 「伝わるように話す」 「わかりやすく書く」 「社会への視点① さまざまな規約」 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・話し言葉の特徴や相手に配慮した表現、書くべき材料のそれぞれの関係や全体の構造について理解し、実社会に必要な語句の量を増やしている。 【思考・判断・表現】 ・話し言葉の特徴を踏まえ、相手が理解しやすいように表現を工夫して話し、文章の種類をふまえて、叙述を基に内容を的確にとらえ、目的や意図に応じた適切な材料や表現形式を選んで書いている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・口頭での説明の際は相手が理解しやすい表現を粘り強く工夫し、説明を書く場合は材料同士の関係や全体の構造に注意しながら、目的や意図に応じて適切な材料と形式を粘り強く選び、読む際は進んで、叙述を基に文章の内容を的確にとらえようとしている。	○	○	○
単元名：論理をとらえる 【知識・技能】 ・主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとする。	・指導事項 主張の導出 ・教材 「動的平衡としての生物多様性」 ・一人1台端末の活用 等 forms の利用	【知識・技能】 ・主張と論拠などの情報と情報の関係や、推論のしかたについて理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、本文における情報の関係に注意しながら、内容や論理の展開について叙述をもとに的確にとらえている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・論理的な文章を読むことを通して、情報の関係や推論のしかたに注意しながら内容や展開を把握することに粘り強く取り組む中で、自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○
定期考査			○	○	

■2学期

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態
単元名：魅力的に伝える 【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色につ	・指導事項 相手に響くように表現する ・教材	【知識・技能】 ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色について理解している。	○	○	○

いて理解する。 【思考・判断・表現】 ・話す際は自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫し、書く際は読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に表現の工夫をしようとする。	「工夫して話す」 「魅力的な紹介文を書く」 ・一人1台端末の活用 等 forms の利用	【思考・判断・表現】 ・話す際は自分の考えが的確に伝わるよう、話の構成や展開を工夫し、書く際は読み手の理解が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に表現の工夫をしようとしている。			
単元名：資料と文章の関係を読む 【知識・技能】 ・文章と図表の情報の対応関係、統計資料を引用することの必要性を理解する。 【思考・判断・表現】 ・読む際は情報を関連づけながら内容を解釈して自分の考えを深め、書く際は統計資料から適切な情報を抽出できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図表を伴う文章を読む際は情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈しようとする。	・指導事項 科学的な推論 ・教材 「インターネット時代の音楽産業」 「統計資料をもとに意見を書く」 ・一人1台端末の活用 等 forms の利用	【知識・技能】 ・文章と図表の情報の対応関係、統計資料を引用することの必要性を理解している。 【思考・判断・表現】 ・読む際は情報をに関連づけながら内容を解釈して自分の考えを深め、書く際は統計資料から適切な情報を抽出できている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・図表を伴う文章を読む際は情報を相互に関連づけて内容を粘り強く解釈しようとしている。	○	○	○
単元名：文章を比較して読む 【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解する。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとする。	・指導事項 文章比較の方法 ・教材 「『美しさの発見』について」 「『個人』から『分人』へ」 ・一人1台端末の活用 等 forms の利用	【知識・技能】 ・個別の情報と一般化された情報との関係について理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。	○	○	○
定期考査			○	○	

■3学期

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態
単元名：主張を吟味する 【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたや読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解する。 【思考・判断・表現】 ・読む際は、情報を相互に関係付けながら読んで自分の考えを深め、書く際は読み手からの評価を踏まえて書き、話す際は考えが明確に伝わるよう、立場を明確にして反応を予想しながら話し、聞く際は論理の展開を予想しながら聞いて、聞き取った情報を整理する。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分や相手の主張や根拠、理由づけの妥当性を確かめる方法を理解し、積極的に使おうとする。	・指導事項 情報の取り扱い方 ・教材 「賛沢を取り戻す」 「文章を読み取って主張を書く」 「討論をする」 ・一人1台端末の活用 等 forms の利用	【知識・技能】 ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたや読み手に伝わりやすい主張の組み立て方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・読む際は、情報を相互に関係付けながら読んで自分の考えを深め、書く際は読み手からの評価を踏まえて書き、話す際は考えが明確に伝わるよう、立場を明確にして反応を予想しながら話し、聞く際は論理の展開を予想しながら聞いて、聞き取った情報を整理している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分や相手の主張や根拠、理由づけの妥当性を確かめる方法を理解し、積極的に使おうとしている。	○	○	○
単元名：主体的に読む 【知識・技能】 ・主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりできるようにする。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深める。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用する。	・指導事項 読み取った情報を活用する ・教材 「作業ロボットの悲劇」 ・一人1台端末の活用 等 forms の利用	【知識・技能】 ・主張の根拠の信頼性や妥当性について、確かめたり吟味したりしている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、目的に応じて文中の情報を関連付けながら内容や書き手の意図を解釈し、自分の考えを深めている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・積極的に、自分の目的に応じた情報を文章から取り出し、自分の考えを形成したり修正したりすることに活用しようとしている。	○	○	○
定期考査			○	○	